
(仮称) ころべ市民交流センター
管理運営計画 (素案)

【はじめに～第2章まで】

平成31年 月

(仮称) ころべ市民交流センター
管理運営計画策定委員会

計画経緯・現状等

(仮称)くろべ市民交流センターについては、平成23年3月の「黒部市立図書館建設基本構想」、平成27年8月の「黒部市役所庁舎跡地活用に関する提言書(黒部市役所庁舎跡地活用検討委員会)」を踏まえ策定された「(仮称)くろべ市民交流センター建設基本構想報告書((仮称)くろべ市民交流センター建設基本構想策定委員会が平成29年3月に策定)」が平成29年6月、市議会で議決された。

この基本構想を踏まえた上で、図書館を核とした(仮称)くろべ市民交流センター整備を行うにあたり、具体的に実施できる事業の方向性や管理運営組織体制を示す管理運営計画を策定するものである。

本管理運営計画は、詳細な事業内容・施設内容・最終的な配置をはじめ、様々な角度から分析・検討を加えながら、これまでにない斬新な複合施設として、更なる生涯学習、文化力の向上と市民交流及び市民協働参画の推進並びに新庁舎と連携してのまちなかの賑わい創出を図る(仮称)くろべ市民交流センターの具体的な管理運営の方向性や計画をとりまとめたものである。

目次

第1章	基本コンセプト
第2章	管理運営方針
第3章	事業運営方針
第4章	事業計画
第5章	事業計画 U-18
第6章	事業広報
第7章	事業運営組織
第8章	事業収支
第9章	開業準備

▶「はじめに」については、本計画策定終了時の総括文章であることから、7回に及ぶ委員会終了時に加除修正し、改めて検討することとする。

第1章

(仮称)

くろべ市民交流センター

建設基本構想

基本コンセプトの確認

1-1 設置目的の確認

1. 課題の確認

- ・ 現行の黒部市立図書館、市民会館、働く婦人の家、三日市公民館の4施設については、老朽化が著しく、非耐震となっている。又、各施設とも施設が狭く利用者には不便な状況となっている。(基本構想 P3-6)
- ・ 公共施設の再編に関する基本計画(平成27年10月)では、図書館と三日市公民館は長寿命化、市民会館と働く婦人の家は建物の解体と判断されており、図書館と三日市公民館は、劣化度調査を踏まえて建物の複合化などを検討するとしている。

(基本構想 P7)

施設名	公共施設の再編に関する基本計画 (H28~H32 対応)
黒部市立図書館	耐震補強や大規模改修など <u>長寿命化</u> に取り組み、建物性能を確保しながら、機能を維持する。ただし、劣化度調査の結果、老朽化が著しく、長寿命化が困難な場合や費用比較等で優位な場合に限り <u>建替え</u> 、 <u>複合化</u> により機能集約、連携体制の強化を図る。
市民会館	大規模改修等の必要性が見込まれる時点で、 <u>建物を解体</u> する。現在の機能で存続すべきものを抽出し、 <u>代替施設に移転</u> することにより、 <u>機能集約</u> 、連携体制の強化を図る。
働く婦人の家	大規模改修等の必要性が見込まれる時点で、 <u>建物を解体</u> する。現在の機能で存続すべきものを抽出し、 <u>代替施設に移転</u> することにより、 <u>機能集約</u> 、連携体制の強化を図る。
三日市公民館	耐震補強や大規模改修など <u>長寿命化</u> に取り組み、建物性能を確保しながら、機能を維持する。ただし、劣化度調査の結果、老朽化が著しく、長寿命化が困難な場合や費用比較等で優位な場合に限り <u>建替え</u> 、 <u>複合化</u> により機能集約、連携体制の強化を図る。

2. 施設の設置目的の確認

- ・ 平成23年3月の「黒部市立図書館建設基本構想」、平成27年8月の「黒部市役所庁舎跡地活用に関する提言書(黒部市役所庁舎跡地活用検討委員会)」を踏まえ、庁内検討会を経て、平成27年12月定例会において、市長が「図書館をコア施設とした複合施設“(仮称)くろべ市民交流センター”建設を目指すこと」を表明した。(基本構想 P8)
- ・ 平成28年7月、「(仮称)くろべ市民交流センター建設基本構想策定委員会」を設置し、「図書館を核とする複合施設」を建設することを前提に、庁内検討とともに議論を重ね、平成29年3月に「(仮称)くろべ市民交流センター建設基本構想報告書」の答申を受け、同年6月に「(仮称)くろべ市民交流センター建設基本構想(以下「基本構想」という。))が議決された。(基本構想 P8)。

年度	月	取り組み経過内容
H22	5	「黒部市図書館協議会（黒部市図書館建設検討委員会）」（委員長：上田洋一氏）において、「黒部市立図書館建設基本構想」の策定を開始。 （H23年3月まで7回開催）
H23	3	「黒部市図書館協議会（黒部市図書館建設検討委員会）」から教育委員会に対して「黒部市立図書館建設基本構想」が提出される。
H26	6	民間委員による「黒部市役所庁舎跡地活用検討委員会」（委員長：上田洋一氏）を設置し、旧黒部庁舎跡地の利活用について検討を開始。 （H28.8まで8回開催）
H27	8	「黒部市役所庁舎跡地活用検討委員会」から市長に対して「黒部市役所庁舎跡地活用に関する提言書」が提出される。
H27	11	庁内組織の「黒部市庁舎跡地活用検討会」（会長：副市長 中谷延之）を設置し、提言書の内容を基に、「(仮称)くろべ市民交流センター」の方向性を決定。 （H27.12まで3回開催） 【検討時の留意事項】 ●市の財政負担や既存施設・敷地を考慮し、実現可能な活用事例の検討 ●近隣公共施設の集約化と公共施設のあり方検討との整合性を図る ●新庁舎と連携した中心市街地の賑わい創出を図る
H27	12	市議会12月定例会において市長が「(仮称)くろべ市民交流センターの建設を目指す」ことを表明。 【主な表明内容】 ●図書館をコアとした複合施設「(仮称)くろべ市民交流センター」の建設 ●図書館に現在の「三日市公民館」・「働く婦人の家」・「市民会館」の3施設の機能に加え、「キッズスペース」を複合 ●商工会議所の同施設の複合・入居については、引き続き慎重に協議・検討
H28	6	市議会に「(仮称)くろべ市民交流センター建設検討委員会」が設置される。
H28	7	庁内組織の「(仮称)くろべ市民交流センター建設基本構想検討会」（会長：副市長 能澤雄二）が設置される。
H28	7	民間委員による「(仮称)くろべ市民交流センター建設基本構想策定委員会」を設置。
H29	3	「(仮称)くろべ市民交流センター建設基本構想策定委員会」（委員長：中村和之氏）より黒部市長に「(仮称)くろべ市民交流センター建設基本構想報告書」が答申される。
H29	6	市議会6月定例会において「(仮称)くろべ市民交流センター建設基本構想」が議決される。

・基本構想「基本コンセプト“市民が集い学ぶ文化・交流の拠点”」として、図書館を核に、子育て支援や未来の黒部市を担う子どもたちの育成、まちの賑わいや活性化を推進するための交流促進や活動団体などへの支援、さらには生涯学習や情報の収集・発信・保存など市民の知的好奇心を満たす多機能を有する市民のための交流拠点づくりを基本コンセプトとしている。（基本構想P15）

1-2 基本コンセプトの確認

1. 「(仮称)くろべ市民交流センター建設基本構想」基本コンセプト(構想P15-18)
 ・『市民が集い学ぶ文化・交流の拠点』を基本コンセプトとして、図書館を核に、子育て支援や未来の黒部市を担う子どもたちの育成、まちの賑わいや活性化を推進するための交流促進や活動団体等への支援、生涯学習や情報の収集・発信・保存など、市民の知的好奇心を満たす多機能を有する交流拠点づくりを行う。

1. (仮称)くろべ市民交流センター建設の基本方針

・基本コンセプトを踏まえて、(仮称)くろべ市民交流センター建設の基本方針を設定した。

1	地域の交流・情報センターとして機能性あふれる図書館を核に、市民の文化活動、生涯学習の充実につながる施設
2	図書館と子育て支援が融合する施設
3	市民の交流やまちの賑わいを創出し、市民活動を支える施設

2. 基本コンセプトを踏まえて、(仮称)くろべ市民交流センターに求められる機能として、基本機能を設定した。

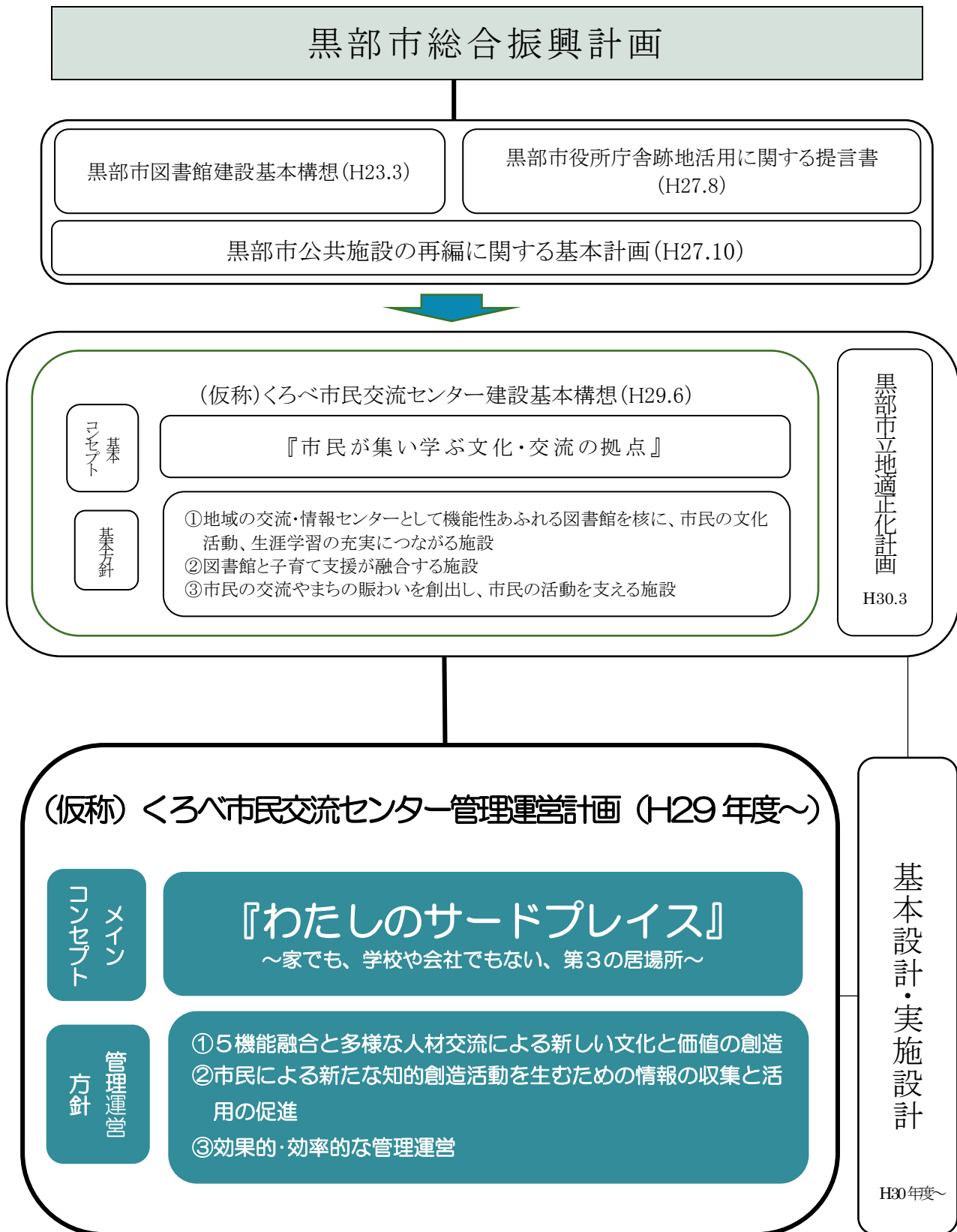
機能	各分野が担う主な役割
図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・図書・映像・音楽などの充実により、市民の知的好奇心を満たし、文化力を向上する機能 ・何度でも気軽に利用できる憩いの場を提供する機能 ・黒部市の歴史や文化に関する情報収集・保存と、市民に分かりやすく伝える機能 ・図書館を取り巻く環境変化に柔軟に対応し、時代と共に成長できる機能
子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが遊びや学びを通じて、創造豊かに育つ機能 ・絵本の読み聞かせなど図書館と連携した子育て機能 ・子育て世代が、気軽に同世代や他の世代と交流できる機能
生涯学習	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもからシニアまで公民館活動を通じた生涯学習活動の場を提供・支援する機能 ・女性、青少年が趣味や興味を活かし、グループ活動や成果発表ができるとともに、気軽に立ち寄り、自由に利用できる機能 ・シニアが自分の趣味や興味を活かし、グループ活動等で生きがいを感じることができるとともに、子どもや青少年等と様々な形で交流できる機能
市民活動支援	<ul style="list-style-type: none"> ・黒部市のまちづくりや市民活動等に取り組む団体などが利活用できる機能
ビジネス支援	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館機能と連携したビジネスに関する情報提供を行う機能

第2章

(仮称)くろべ市民交流センター
管理運営計画

管理運営方針

第1章で確認した（仮称）くろべ市民交流センター建設基本構想基本コンセプト等を踏まえ、本章では、管理運営計画の目的を整理し、「管理運営方針」を設定し、「メインコンセプト」を提案する。



2-1 管理運営計画の目的

(仮称)くろべ市民交流センターについては、平成23年3月の「黒部市立図書館建設基本構想」、平成27年8月の「黒部市役所庁舎跡地活用に関する提言書(黒部市役所庁舎跡地活用検討委員会)」を踏まえ策定された「(仮称)くろべ市民交流センター建設基本構想報告書(平成29年3月策定:(仮称)くろべ市民交流センター建設基本構想策定委員会)」が平成29年6月、市議会定例会において議決された。

今後、この基本構想を踏まえ、図書館を核とした(仮称)くろべ市民交流センター整備に向け、具体的に実施できる事業の方向性を示し管理運営体制を検討する必要がある、詳細な事業内容をはじめ、様々な角度から分析・検討を加えながら、これまでにない斬新な複合施設として、更なる生涯学習、文化力の向上と市民交流及び市民協働参画の推進並びに新庁舎と連携してのまちなかの賑わい創出が図られる(仮称)くろべ市民交流センターの施設全体としての具体的な管理運営計画を策定することを目的とする。

なお、今回の管理運営計画の策定にあたっては、「(仮称)くろべ市民交流センター建設基本構想」を前提に取りまとめるものとする。(H30.3.6 諮問書)

2-2 管理運営方針

1. 管理運営方針

「(仮称)くろべ市民交流センター建設基本構想」を踏まえ、『市民が集い学ぶ文化・交流の拠点』として5機能の役割を果たすために、訴求点3点を管理運営方針として整理する。

【方針1】5機能融合と多様な人材交流による新しい文化と価値の創造

- ・図書館を核とし、すべての機能を融合させ、新しい文化と価値を創造する。
- ・世代や職種を超えた人や情報の出会いを促す。

【方針2】市民による新たな知的創造活動を生むための情報の収集と活用の促進

- ・市民生活や進学・就業等に役立つ情報を収集し、提供するとともに、それを利用する市民が新たな知識や価値を生み出し、発展を促す。

【方針3】効果的・効率的な管理運営

- ・各機能の融合により、施設全体の弾力的な運用やスペースを共用化・集約化するなど効果的で効率的な運営を行う。

2. 管理運営計画のメインコンセプトの提案

- ・『市民が集い学ぶ文化・交流の拠点』として、(仮称)くろべ市民交流センターに求められる5機能の役割を果たすには、市民ニーズに対応した事業を展開する中で、次世代の育成と本市の発展や中心市街地の活性化にとって有効であるとともに、実現性や

持続可能性の高い施設運営をしていくことが前提となる。

- 今回複合化する5機能の事業展開については、好奇心、探求心、向学心など知的欲求はもちろん、現代社会やライフステージにおける人々の不安や心の隙間に寄り添い、市民の心を満たす事業展開し、『居場所・駆け込み寺・寺子屋・隠れ家』など『心の拠り所・拠点』としてのポジションを確保することにより、本市の事業としての独自性を内外に発信していくことが重要となる。
- 施設を構成する5機能の融合により、黒部の新たな価値の創造の拠点としていく。
- 市民ニーズを把握しながら管理運営計画の事業内容について検討するため、『知と心の拠り所・拠点』として、シンボル性の高い「管理運営計画メインコンセプト」を掲げるとともに、5機能別にもコンセプトを掲げること検討する。

☛ 「管理運営計画メインコンセプト」の検討

『わたしのサードプレイス』 ～家でも、学校や会社でもない、第3の居場所～

- 1 『ライフステージ』をアシスト（図書館）
- 2 『子育て』をアシスト（子育て支援センター）
- 3 『生涯学習』をアシスト（三日市公民館、働く婦人の家）
- 4 『市民活動』をアシスト（市民会館）
- 5 『ビジネス』をアシスト（図書館、他機関等と連携）